

平成31年 3月 218号

NETWORK たま

編集・発行：〒206-0036 東京都多摩市中沢二丁目1番地3
東京都立多摩総合精神保健福祉センター広報計画担当

TEL 042-376-6580 (広報援助課 直通)

FAX 042-376-6885

E-mail S0200147@section.metro.tokyo.jp (当センター広報援助課)

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/tamasou/index.html>

(「NETWORK たま」は、上記 URL からダウンロードすることが出来ます。) 年7回 (5, 7, 9, 10, 11, 1, 3月) 発行

★3月は東京都自殺対策強化月間です。自殺防止！東京キャンペーンは
http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/tokyokaigi/torikumi/campaign/campaign_3103.html こちらをご参照ください。

サンクラブ多摩主催 精神保健福祉公開講演会

みんなでやろう 家族 SST

平成31年4月6日(土曜日)午後1時30分～4時



毎回、たくさんの方に参加していただいている好評の高森先生の家族 SST 講演会は今回で48回目を重ねることになりました。私たち家族が「こころの病」に対応していくための実践力と家族力を、ユーモアと笑顔に満ちたお話を聞き、ロールプレイをするうちに、自然と身につけることができます。

特に今困っている問題を抱えておられるご家族や、ご本人のご参加をお待ちしています。今まで参加したことがない方も、どうぞぜひお出かけください。

講師：高森 信子 氏

場所：二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ(多摩市総合福祉センター)
5階視聴覚室 〒206-0032 東京都多摩市南野3-15-1
小田急線唐木田駅から徒歩約8分・多摩センター駅から徒歩(※)

参加費：資料代として300円(資料をお持ちでない方のみ)

申込み：不要(直接ご来場ください)

問合せ：電話：042-371-3380 (藤岡)

主催：サンクラブ多摩



(※)小田急線・京王線・多摩モノレール多摩センター駅から「日大三高」行きのバスにて「福祉センター」下車すぐ、または「鶴牧団地循環」バスにて「南鶴牧小学校」下車、徒歩約5分

社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会 なびい
こころの病をもつ当事者のご家族・子育て中のご家族のための講座

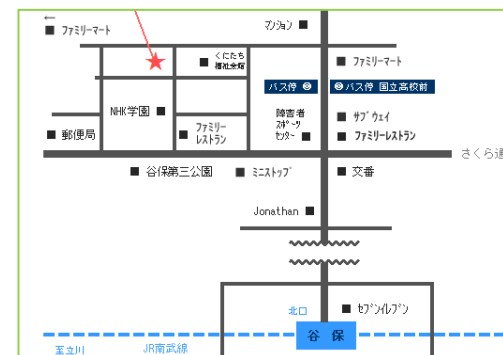
アサーティブネスへようこそ

平成31年3月9日(土曜日)午後2時～3時30分

開催間近!

講師：堤 暢子 氏 Be-Happy! アサーティブネスの会 主宰
エンパワーメントYOU ネットワーク認定ファシリテーター
場所：児童養護施設 生長の家神の国寮 1階みんなの広場 こすもす
〒186-0003東京都国立市富士見台2-39-1
JR 南武線谷保駅北口から徒歩約 15 分または4番乗り場からのバスで国立高校前下車徒歩約3分
申込み：お電話でお申し込みください 参加費：無料
申込み・問合せ：相談支援事業・地域活動支援センター なびい
電話：042-571-3103
(火曜日～土曜日10:00～18:00)
主催：社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会 なびい

なびいでは、毎年ご家族向けの講座を開催しています。今回は、ともに地域福祉に取り組んでいる神の国寮の皆さんと子育て中のご家族にも聴いていただきたいという思いで企画しました。『アサーティブネス』の訳語は、「自己主張すること」。でもそれは、自分の意見を押し通すことではありません。自分の気持ちや意見を、相手の権利を侵害することなく、率直に、誠実に、対等に表現することを意味します。大切なご家族との日々のかかわりを考える機会にしませんか。どうぞお気軽にご参加ください。



～ふらっと 講演会～

高次脳機能障害によるコミュニケーション障害の回復に向けて

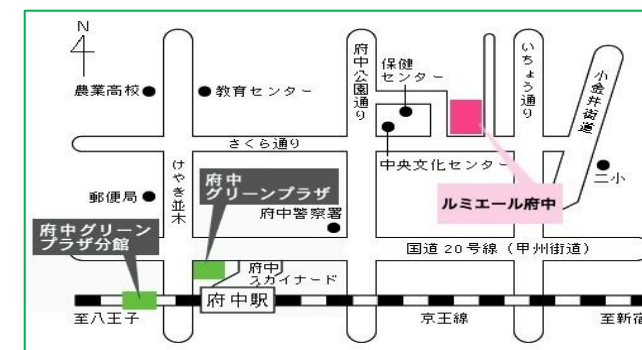
平成31年3月23日(土曜日)午前10時～12時

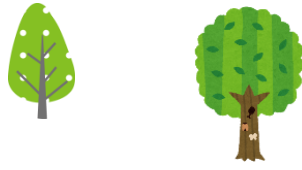


講師：山本 一真 氏
東京慈恵会医科大学附属第三病院
リハビリテーション科 言語聴覚士
場所：ルミエール府中 講習会議室
〒183-0055東京都府中市府中町2-24
京王線府中駅から徒歩約7分
対象：障害者相談支援機関・ケアマネージャー・民生委員・高次脳機能障害者家族など(当事者も可)
定員：35名(先着申込み順) 電話または FAX でお申し込みください
参加料：無料
申込み・問合せ：地域生活支援センター ふらっと
電話：042-370-1781 FAX: 042-370-1783

脳梗塞や脳出血・転倒等の事故などの後遺症により、日常生活での会話で、言葉がすぐに出なかったり相手の言っていることがよくわからなかったりして困っていませんか？また、感情のコントロールが難しくなって、すぐに怒ったりしてしまい、人間関係が悪くなるようなことが生じていませんか？

言語障害のリハビリに精通された専門家をお招きし、高次脳機能障害によるコミュニケーション障害を理解し、回復に向けて、家庭で、地域でどのように支援していったらよいかを伺います。家族の方、支援者の方などぜひご参加ください。





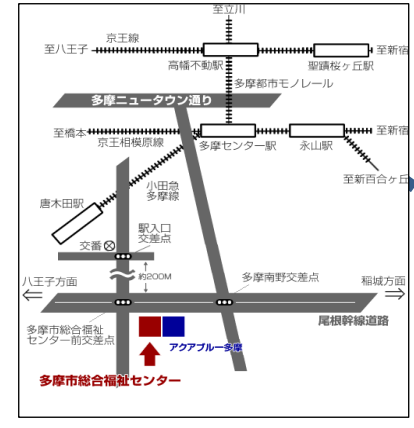
不登校・ひきこもり家族会 NPO 法人楽の会リーラ

不登校・ひきこもり地域家族会多摩 家族懇談会

平成31年3月30日(土曜日)午前10時～12時30分

世間体、価値観、目線が気になって、だれにも相談していない。家族ごと地域から孤立している。相談窓口の年齢など利用条件で制約を受けてしまって、どうしたらいいのかわからない。そんな声を踏まえて、この度、多摩市で地域に密着した、当事者主体で活動していく不登校・ひきこもりの家族会を立ち上げることになりました。お茶を飲みながら懇談会形式での家族会を開催します。詳細はお問合せください。

場所：二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ(総合福祉センター)7階研修室
 申込み：不要
 参加費：500円/1人
 問合せ：不登校・ひきこもり家族会 NPO 法人 楽の会リーラ
 電話：080-6539-1304 (大橋)
 Eメール jamboohashi0507@yahoo.co.jp
 共催：社会福祉法人 多摩市社会福祉協議会
 後援：多摩市



NPO 法人 町田市精神障害者さるびあ会 映画上映会

夜明け前^{くれしゅうどう}～呉秀三と無名の精神障害者の100年～

平成31年4月14日(日曜日)午後1時30分～(開場1時)

約100年前、幽閉された人々を救うため立ち上がった呉秀三という精神科医がいた。なぜ呉は、人権を保障する日本国憲法や福祉法がない時代に座敷牢や拘束具の廃止を呼びかけることができたのか。それにもかかわらず、いまだに精神科病院では拘束がなくなる状態が続いている。

是非、現場で働いている方々にも見ていただきたく、日曜日に開催します。

場所：せりがや会館4階 第2会議室
 〒194-0013東京都町田市原町田4-24-6
 JR 横浜線・小田急線町田駅から徒歩約10分
 参加費：500円(会員の方は無料)
 申込み：不要
 問合せ：さるびあ会 電話/FAX 042-726-2031
 (月・木10:00～15:00)

主催：NPO 法人町田精神障害者さるびあ会・家族支援事業
 共催：社会福祉法人ウイズ町田

* 上映後、今井友樹監督の談話があります



多摩総合精神保健福祉センター

思春期・青年期デイケアの施設見学会

多摩総合精神保健福祉センターでは思春期・青年期デイケアを行っております。ご利用をお考えの方は、まずデイケア施設見学会へどうぞご参加ください。ご家族、関係機関の方もご参加いただけます。

平成31年3月～6月の見学会		
平成31年	3月	13日(水)・27日(水)
	4月	10日(水)・24日(水)
	5月	8日(水)・22日(水)
	6月	12日(水)・26日(水)



時間：午前11時に開始し12時までに終了
 場所：当日午前11時までに当センター1階ロビーにおいてください
 対象：当センターのご利用をお考えのご本人、ご家族、関係機関の方
 申込み：不要
 問合せ：多摩総合精神保健福祉センター生活訓練科
 電話：042-373-7711(午前9時～午後5時)
 URL http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/tamasou/day_car/e/index.html



《 次号以降のご案内 》 ★「NETWORKたま」は多摩地域の精神保健福祉関係機関からの情報を提供しています

- 掲載をご希望の場合
 次号『NETWORK たま』は平成31年5月号です(平成31年4月末発行予定)。記事の掲載をご希望の機関は、平成31年4月10日(水曜日)までに郵送、FAX、メールのいずれかで、当センター広報計画担当へ原稿をお送りください。広報計画担当「NETWORK たま」担当者宛と明記してください。原稿に間違いがあると発送が遅れたり、ご迷惑をおかけしてしまうことがあります。ご寄稿前に内容や誤字脱字等のご確認をお願いします。また、住所を問合せ先にする場合は、必ず郵便番号もお書き添えください。原則、先着順に掲載いたします。なお、掲載希望多数の場合は、お載せできないこともありますので、あらかじめご了承ください。
- 今後の発行の予定
 次号以降の発行は、平成31年度5月号、7月号、9月号、10月号、11月号、1月号、3月号の予定です。
 当センターホームページ
 (URL <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/tamasou/index.html>) もご覧ください。

《 『NETWORK たま』メール配信のお願い 》

現在、情報紙『NETWORK たま』は、ご希望の各機関に、主にメール便でお届けしています。しかし経費節減や保存管理の利便性があること観点から、ご協力いただける機関にはE-mailでの配信を行っております。もしご協力いただけるようでしたら、当センター広報援助課(E-mail S0200147@section.metro.tokyo.jp)まで『NETWORK たま メール配信希望』の件名でメールをお送りください。その際、現在の送付先リストと照合するため、「機関名」と「住所」を本文に記入してください。紙ベースの送付を継続して希望される機関には、従来通り宅配便等でお送りします。また、紙ベースの送付・メール配信共に希望されない機関は、お手数ですが、広報援助課までお知らせください。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。